

部位ごとの採材方法

 採材時は、必ずグローブを着用してください。


用意するもの

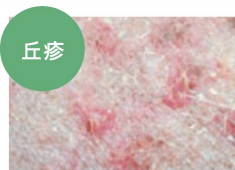
- シードスワブ
- 注射針
- グローブ
- ピンセット
- 滅菌スピッツ管など

皮膚細菌検査




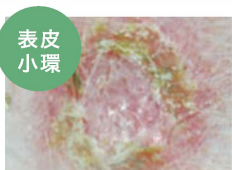
膿疱

 注射針などを用いて膿疱を切開し、膿を圧出して採取。




丘疹

 グローブなどを着用し、指で絞って滲出液を採取。




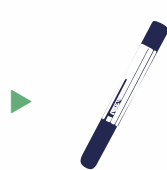
表皮小環

 鱗屑をピンセットではがし、その下部から採取。



深在性

 深在性の場合には針吸引や生検サンプルから採取。



採材部にスワブを擦り付ける

外耳炎検査

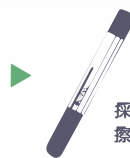


耳道の浅部感染

膿や滲出物を採材

耳道の深部感染

浅部を生理食塩水などで洗浄し、深部の膿や滲出物を採材



採材部にスワブを擦り付ける

尿細菌検査

穿刺尿・カテーテル尿・自然尿



コンタミを防ぐため、穿刺での採材を推奨



スピッツ管に入れる
※1mL以上

尿定量培養検査(オプション検査)は、必ずスピッツ管にてお送りください。

※スワブでお送りいただいた場合、定量培養はできかねます。

スピッツ管は弊社無料提供のスクリュタイプ(キャップがねじ口のもの)をご利用ください。



※採取量が多い場合は、液漏れ防止のため、キャップをマスキングテープ等で補強

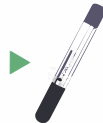
その他細菌検査

腹水・胸水・胆汁・BALF・関節液 など

その他部位の採材方法はテキスト等をご参照ください。



必要な菌量を得るため
遠心にて集菌
※1500~3000rpm/5min



破損リスクの低いスワブで沈渣をぬぐう

複数の部位から採材し、それぞれの検査結果が必要な場合はスワブに部位名を記載し、1検体につき依頼書1枚の送付をお願いいたします。
例) 右腎盂、左腎盂など

眼細菌検査



点眼麻酔薬や生体染色をする前に採材してください。

※防腐剤含有の点眼麻酔薬後は結果に影響する可能性があります。

※痛がる場合は防腐剤無添加の点眼麻酔薬(ex.オキシブプロカイン塩酸 塩ミニムス点眼液0.4%「センジュ」)を使用



マイクロブラシを使用し病変部から採材



乾燥を防ぐためスワブの先端に擦り付ける

or



マイクロブラシを送る場合は生理食塩水(1mL)に漬けて提出。

嫌気培養検査

- 採材時に空気との接触を可能な限り避ける
- キャップをしっかりと締める
- 迅速に検体をお送りください

容器

嫌気ポーター
嫌気対応のスワブ



※弊社提供のスワブ(トランシステムは好気・嫌気対応です。)

弊社提供のスワブがない場合こちらをご参照ください。

